

ママと娘で巡る、春の瀬戸内旅

いつも穏やかで美しいブルーが輝く瀬戸内海。本州と四国にはさまれた内海となり、美しい自然を四季折々感じることができます。そんな瀬戸内海の旅をくっと身近にしてくれるのが、本州と四国を結ぶ本州四国連絡高速道路。神戸から淡路島を通って鳴門へと抜ける神戸淡路鳴門自動車道、児島と坂出を結ぶ瀬戸中央自動車道、尾道と今治をつなぐ西瀬戸自動車道の3ルートから成り立ち、瀬戸内海を旅するのに欠かせない存在です。その中で、今年開通20周年を迎える神戸淡路鳴門自動車道、そして開通30周年を迎える瀬戸中央自動車道をメインに、春旅にもってこいの瀬戸内をご紹介します。雄大な橋を渡って、自然、アート、アミューズメント...とさまざまな楽しみが広がる淡路島、四国を巡ってみよう!

撮影/小淵真希子 モデル/野崎珠愛、野崎結愛 (sesame 40 love model) by sesame



神戸淡路鳴門自動車道開通20周年記念

神戸と鳴門を結ぶ、1998年に開業した神戸淡路鳴門自動車道橋。かつては航路しかなかった本州～淡路、本州～四国が陸続きとなり、気軽に旅が楽しめるようになりました。この自動車道の開通で話題のひとつとなったのが明石海峡大橋。全長3911mを誇る世界最長の吊り橋となり、10年以上の長きにわたって、ギネス世界記録に認定もされています。夜になるとライトアップされる美しい姿も見逃せません(P115参照)。

橋を渡って、瀬戸内旅 | 明石海峡大橋

淡路サービスエリア

明石海峡大橋からほど近く、抜群の眺めを誇るSA

本州から淡路島へ渡って一番最初にあり、「橋のみえる丘」とも名づけられるこのサービスエリアは、明石海峡大橋の見事な景観を眺めることができます。この特徴は、上下線どちらからでもエリア内を自由に行き来できること。レストラン、フードコート、インフォメーションなどをはじめ、展望テラスや大観覧車、ドッグランなども併設、アミューズメントとしても楽しめる施設となり、ここを目的に来場し、そのまま帰ることも可能。夜は一転、ライトアップされた橋や本州側の夜景が、ロマンティックなムードに。



人気のテイクアウトメニューは、外売店の「あわ旬」(上り)、「チンラ」(下り)の淡路玉ねぎ豚まん(¥260)。特産の玉ねぎをたっぷり使用。



(写真上・淡路SA下り) 1周15分の空中散歩が楽しめる大観覧車は、明石海峡大橋などが一望できる大人気のビューポイント。足元まですべてシースルーのゴンドラは大興奮! (写真下・淡路SA上り) ロマンティックな夜景とともに蓄光石によるモニュメントの光りの演出が幻想的な「恋人の聖地」。「ハートライトゲート」では、差し込む光が♡形になるキュートな演出が。

